

大野小学校グランドデザイン

守谷市学校教育プラン

- 【確かな学力の育成】
ステップアッププラン
- 【豊かな心をはぐくむ教育の推進】
ハートフォーヒューマンプラン
- 【健康と体力をはぐくむ教育の推進】
ヘルス&フィジカルプラン
- 【新しい時代に対応した教育の推進】
ニュージェネレーションプラン
- 【開かれた学校づくりと家庭地域との連携】
パートナーシッププラン

めざす学校像

子供が笑顔で元気に登校し、学習や行事に楽しく取り組む学校

- 1 児童にとって、学ぶことが楽しい、明るい学校
- 2 あいさつや歌声が響き合う学校
- 3 保護者や地域から愛され、信頼される学校
- 4 安全・安心に過ごせる学校

学校経営の方針

- 1 問いの質を高め、子供中心の授業を展開し、目的意識をもって自ら学ぼうとする子供の育成に努める。
- 2 体験活動や交流活動、地域の人材を活用した授業を通して、人間性豊かな子供の育成に努める。
- 3 意図的で計画的な体育的行事や健康教育、安全教育を推進することで、心身ともに健やかな子供の育成に努める。
- 4 保幼小中高一貫教育を推進し、発達段階に応じた連続性のある指導を通して、学ぶ目的をもてる児童を育成する。
- 5 家庭や地域との円滑な連携に努め、開かれた学校づくりを推進する。
- 6 授業研究を中心にした実践的な研修で、教員の指導力向上に努める。

守谷中学校区一貫教育で目指す児童像

【知】自ら学ぶ子・・・自ら学び、考え、主体的に行動できる子
 【徳】思いやりのある子・・・感性豊かで思いやりがあり、助け合える子
 【体】たくましい子・・・心身共にたくましく、最後までやり抜く子

守谷中学校区の目標

個性を伸ばし、豊かな人間性のある児童生徒の育成

目指す教師像

- 1 わかる授業を工夫する教師
- 2 繰り返し丁寧に児童に関わる教師
- 3 ほめて、認めて、やる気をもたせる教師
- 4 目をかけ、声をかけ、心をかける教師
- 5 温かく、厳しく、やる気をもたせる教師

学校教育目標

自ら学ぶ態度を養い 人間性豊かで 心身ともに健やかな児童の育成を目指す

今年度の重点目標

- ・目的意識のある探究的な学びを生み出す授業づくりを進め、思考力・判断力・表現力を育成する。
- ・地域人材との連携・協働により、感謝の念・向上意欲・社会貢献へと意識を高めるキャリア教育を実践する。

今年度の守谷中学校区一貫教育重点

【学習】
①学びを生かす児童・生徒を育む
カリキュラム・マネジメント
～地域資源を活用し、体験を豊かな学びにかえる
授業づくりを通して～
②守谷中学区授業メリットの推進

【生活】
・「みそあじ運動」の展開、
・小中一貫生活スタイルの推進

ハートフォーヒューマンプラン

思いやりのある子を育てるために

- ★基本的な生活習慣を身に付けさせ、人間関係づくりの基盤をつくる。
・「みそあじ運動」と「守谷しくさ」の指導の推進 ・「黙働」の推進
- ★自己肯定感を育成する。
・体験との関連を図った道徳の授業の充実と中学校区での道徳教育の推進
- ★特別支援教育や生徒指導体制の充実を図る。
・一人一人の学びを尊重する授業の実践
・「認め、励まし、ほめ、伸ばす」共感的生徒指導と特別活動の展開

<具体的な目標>
・学校を楽しみと感じる児童 90%以上 ・学校学級のために役立てたと実感する児童 90%以上
・hyper-QU学級生活満足群 50%以上

ステップアッププラン

自ら学ぶ子を育てるために

- ★「主体的・対話的・探究的な学び」のある授業づくりを推進する。
・各教科における思考力・表現力の育成を目指した毎月の研究授業と研究協議の実施
・「守中授業メソッド」の推進
- ★学びのプランによる小中の系統性を意識した授業を展開し、学習習慣の定着と基礎的・基本的な知識や技能の習得を図る。
・「学びのプラン」による話し方のスキルの定着
・算数科における複数支援体制と高学年理科教科担任制の実施
- ★家庭学習の習慣の定着と充実を図る。
・家庭との連携による「家庭学習のてびき」の活用

<具体的な目標>
・学力診断テスト平均正答率の向上（前年度比3%）
・年間50冊読破者数80%以上
・読書の質的向上を実感する高学年児童70%以上
・漢字・計算確認テスト合格者数80%
・家庭学習時間（学年×10+10分）90% 達成

ニュージェネレーションプラン

新しい時代に対応できる子を育てるために

- ★情報手段の基本的なスキルとモラルの定着を図る。
・電子黒板、タブレットPCを活用した授業の充実
・関係機関との連携による情報モラル教育の充実（道徳の時間・特別活動）
- ★外国語（英語）活動を通して、言語や文化について体験的な理解を深め、コミュニケーション能力を養う。
・ALTとのTTIによる英語活動の充実
- ★キャリア教育を推進し、自分の良さを生かして集団に貢献しようとする意識を高める。
・体験学習や地域人材・保護者を活用した学習の推進
・係・当番活動・委員会活動・たて割り班活動の充実

<具体的な目標>
・外国語（英語）を楽しみと感じる児童 95%以上
・ICT機器を活用し意見交流を行う授業 90%以上

パートナーシッププラン

子どもの成長をともに喜び合うために

- ★学校からの情報発信の充実に努める。
・ホームページの更新（授業日）
・学校便りの地域への回覧
- ★保護者・地域の教育力を学校教育に生かす。（外部人材の活用）
・米づくり学習（通年）・大野文庫（月2回）
・登下校時の交通安全指導（授業日）
- ★気軽に安心して相談できる教育相談体制づくりに努める。
・教育相談日の周知（週1回）
・家庭訪問と保護者面談の実施
・日常的な情報発信（連絡帳・学級通信）
- ★保幼小中高一貫教育の推進
・保幼小、小小、小中の日常的な交流活動の実施

<具体的な目標>
・HP、学校便りの満足度（対 P会員+地域協力者）90%以上

ヘルス&フィジカルプラン

たくましい子を育てるために

- ★危機回避能力を育成し、自分の命を自分で守る力を育てる。
・全職員による交通安全、生活安全指導の継続
・青色パトロールカーによる毎日の登下校指導
・外部との連携による交通安全教室
・小中合同避難訓練の実施
・地域人材を活用した防災教育の実施
- ★体育的行事や授業の充実を図り、体力の向上を図る。
・外遊びの励行と学習カードを活用した授業の工夫
・「投げる」運動や握力を高める運動の推進
・県スポーツチャレンジへの参加
- ★食や健康に関する教育を推進する。
・毎日の昼食後の歯磨きタイムの実施
・栄養教諭との連携による定期的な食育指導の実施

<具体的な目標>
・体力テストA+Bの割合前年度比 10%UP
・毎日朝食を食べる児童 100%

保幼小中高一貫教育（きらめきプロジェクト）

- 部活動見学・体験の充実
- 小中合同あいさつ運動
- 小中合同研修（アクティブ・ラーニング）情報交換会の充実
- 児童生徒の支援シートの活用
- 児童生徒支援シートの活用
- フォーラムへの積極的な参加（インタラクティブフォーラム、きらめきフォーラム、Moriya English Day）
- 交流教室の充実（年間2回、小中合同・小小合同授業の実施）
- 学びの広場での交流（中学生のサポーター）

Moriya きらめき宣言 2017

- ・いじめに対する話し合いをする。（授業や集会）
- ・直接会話をすることを大切に（Face to Face）
- ・話しやすく相談しやすい雰囲気作り。（心の相談室、SOS運動、アンケート）
- ・SNSする前によく考えよう。

大野小学校教職員はコンプライアンスに関する研修を重ね、信頼される学校を目指します。